

## コロニア市内名所

さして大きいとは言えない街ですので歩いて名所に行きつけますが不規則なスクール、強い紫外線ですのでどなたかポンペイ在住の方に案内してもらうのがベターです。

当地の犬は殆どが放し飼いです。夜間はグループ毎に群れで行動していますので注意して下さい。尚、明け方6時から完全に明るくなる7時頃までの犬は吠えかかるので有名ですのでくれぐれも注意して下さい。

それではコロニア市内の名所を急いで紹介します。

### (1) ドイツ鐘楼 (German Bell Tower)



ドイツ統治時代に建設されてカトリック教会跡、シンボルであった鐘楼は大戦中に破壊されてしまいましたが当地では今尚ジャーマン・ベルタワーと呼ばれています。



スペイン砦跡の裏手にあります。南の国でかかる建築様式が見れるのが不思議ですが何故か南の島の風土に溶け込んでしまっています。訪問記念の撮影をして下さい。

### (2) 観音様像、鳥獣魚類之碑



スペイン砦跡とアンブロスマーケットの間の広場に戦没者慰霊の観音像と上部は取壊されている鳥獣魚類之碑があります。大戦前と大戦後に建立された物です。鳥獣魚類之碑は観音像の直ぐ傍にありますが気付かずに通りすぎる事があります。どちらも慰霊の碑です。

### (3) スペイン砦跡 (Spanish Wall)



ポンペイ空港より市内に入る坂道を通ると右手にグラウンドが見え同時に古びた壁が見えます。1887年にポンペイ人がスペイン人に対して起こした反乱後に建造されました。当地の方達はスパニッシュ・ウォールと呼んでおります。この周辺は公園や球場があり人々は野球やソフトボールに興じています。平日は静かです。ドイツ鐘楼、観音像が視界内にあります。

### (6) プロテスタント協会

1930年代の日本統治時代に日本人技師の設計によって建てられました。

平日は非常に静かで門は閉じてありますが週末は信者達で朝から華やかな雰囲気になっています。

結婚式も行なわれておりカップルの祝福の為、教会の回りに集まっている着飾った方達の姿と屈託の無い笑顔を素晴らしく感じます。



(教会の尖塔)

海上からもこの尖塔が見えます。





(7) 国民学校校門跡・奉安殿跡・集会所の門跡



テレコムの手前のタウンホールの前に南洋庁国民学校跡の門が残っております。但しこの門の学校跡の表札は外される事が多く、最近では今年(2001年)7~8月に数日間掲げられておりました。目下表札は取り外されてます。



日本の統治時代、タウンホール近くのテニスコート裏には照南神社がありました。神社があった民家の庭の一隅に天皇・皇后の御真影が納められていた奉安殿が残されているのを見る事が出来ます。良くぞ残ったと言う感じがします。簡単には発見出来ません。民家の中ですので丁寧に案内を乞われて下さい。



コロニア市内の外れ、ビレージホテルに向かう際に渡る橋の手前の道のすぐ脇にナツ村集会所と読める石柱の門が見えます。国民学校と言い、この集会所と言い大戦前に使われた表現が石に刻まれて残っているのを見てしまうと何故かシャッターを押したくなります。日本人が大勢ここまで来たと言う証です。今は敷地内の建物は学校になっております。大勢の子供達が通学しているのを見る事が出来ます。





(8) リトルキニ博物館 (Pohnpei Lidorkini Museum)

ポンペイの歴史と文化を伝える博物館です。土曜・日曜は休館です。平日もガラ〜ンとして係員の対応がノンビリしていて少し心配になりますが一度は覗いて下さい。内容、対応も南国を知る手掛かりとなります。

(9) 植物園 (Botanical Garden)

多くの植物を見る事が出来ます。敷地内には日本統治時代の南洋庁熱帯産業研究所ポナペ支所の建物が残っています。尚、敷地内にポンペイ州観光局 (Pohnpei Visitors Bureau) があり、時々事務所でローカルダンス等の紹介やコンテストを行っています。観光局の催しに留意されると便利です。



(10) カピングマランギ村 (Kapingamarangi Village) / 木彫り村



サウスパークホテルの道沿いのポーラキエッド地区は通称カピングマランギ村と呼ばれています。1900年初頭の早魃のためポンペイ南方のカピングマランギ環礁から移住して来、この地に住みつきました。現在500人以上が住んでると

言われています。

手先が器用なこの地の方達は木彫りや手編みのバスケットで生計を立てている方が大勢います。

この村の通りには木彫りや手編みバスケット等の販売店が数カ所あります。

木彫りの workshop もあり朝早くから夫々が得意な物を作っているのを見ることが出来ます。

この村を通ると家の傍らにお墓が見えます。ポンペイでは何処でもそうですが、この村は込み合っ建てられているためか特に敷地内のお墓が目立ちます。宗教、しきたりの違いを感じる光景です。

この村の方達は深い所まで平気で潜って魚をいとも簡単に突いて来るので有名です。私も彼等と同行して舌を巻いた経験があります。



(11) 戦車・防空壕跡



メインストリート脇、観光局の傍らに旧日本軍の戦車が置いてあります。薄い装甲、狭い車内、一度手に触って確かめてください。バンクオブハワイの横の通りに火薬庫や防空壕跡が見られます。



(防空壕跡)

(12) その他



スペイン砦跡からのポンペイの目抜き通り（銀座通り）です。カセレリア通り（Kaselehlie St.）と呼んでいます。左の写真は日曜日の朝の通りです。平日は結構混んでいます。車はゆっくり走ってくれますので横断のタイミングが狂う場合があります。週末の朝はジョギングやウォーキングをする方達と犬達の姿しか見えません。



ポンペイ銀座通りの中心地にあるハワイ銀行とグアム銀行の建物です。ミクロネシアのお金の中心地です。

この建物の2階、203号室が私の事務所です（念の為記しました）。

4年前の事務所設立当時、事務所を訪れた方に仕事の内容を聞かれた際、たまたまつり竿を置いていたので『誰にも言っちゃ駄目ですよ。実は事務所の床を開けて毎晩下の銀行から札束を釣ってるんです』と答えたら大受けし、そのセリフをきっかけに当地の方との付き合いがスムーズに進む様になりました。